

第2回和歌山次世代エアモビリティワーキングを開催します

近年、次世代エアモビリティの社会実装に向けた取組が加速しており、大阪・関西万博においても“空飛ぶクルマ”のデモフライトが実施され、「100年に一度の移動革命」として国内外から注目されています。

和歌山県では県内事業者等の皆さまの参画、共創・協業による官民連携に基づいた取組を推進しており、昨年に引き続き第2回ワーキングを開催いたします。

■ 第2回和歌山次世代エアモビリティワーキング ※申込方法は別紙チラシ参照

日時：令和7年12月3日（水）14時30分～16時30分

場所：和歌山県自治会館 大会議室（和歌山市茶屋ノ丁2-1）

定員：100名程度

内容：

【基調講演】

「空飛ぶクルマを取り巻く状況と今後の展開 -万博の振り返りと社会実装の行く末-」
株式会社日本政策投資銀行 産業調査部 兼 航空宇宙室 調査役 岩本 学 氏

【パネルディスカッション】

「空の移動がつながく、和歌山県の新しい地域ビジネスのカタチ」

・モデレーター 岩本 学 氏

・登壇者 近畿経済産業局／和歌山県／（株）IHI／（株）長大・丸紅（株）



第1回開催時の様子

担当者	万博推進課 庄司・栢本
連絡先	073-441-2702